

— 今月のこの人 —

持続可能なかんきつ農家を目指して

JA えひめ南の農業研修事業に参加している唐田^{こうすけ}耕佑さんと加藤^{ひろき}弘樹さん



左から農業研修生の唐田耕佑さんと加藤弘樹さん



JA えひめ南の担い手育成を目的とした農業研修事業に参加している唐田耕佑さんと加藤弘樹さん（ともに御荘深泥出身）です。昨年度から開始したこの事業の2期生にあたる2人は現在、主に愛南ゴールド（品種名：河内晩柑）の収穫作業に取り組んでいます。

松山市からUターンした加藤さんは、「一年を通して必要となる作業や、正しいやり方を学びたい。かんきつ農家が減っているが、収益を確保してコンパクトでも長く続けられる農家を目指したい」と話し、以前はゲーム会社に勤めていたという唐田さんは、「これまでは収穫の手伝いしかしたことがなかったので、剪定や消毒など、一年を通して行う作業を学びたい。将来的には河内晩柑やレモンの栽培に取り組みたい」と意気込みました。

JA 就農研修生を募集しています！

JA えひめ南では、就農研修生（3期生）を募集しています。

- ▶ 募集人数 2人程度
- ▶ 募集期間 令和3年3月末まで
- ▶ 研修期間 令和3年4月から

詳しくは、JA えひめ南南宇和宮農経済センター（電話：72-1160）にお問い合わせください。



愛媛CATV
動画

編集後記

西海地域で唯一のつば網漁師である久保一茂さんを「あいなん逸品図鑑」コーナーで紹介しました。

ももとは5月から7月にかけて盛漁期を迎えるイサキを取材する予定でしたが、取材日があいにくのしけで漁に出ている人がおらず、あきらめて帰ろうとしていたところでお会いした方です。興味深い話が聞けたことに感謝するとともに、お知らせできなかったイサキも今が旬ですのでぜひご賞味ください。 ㊦

愛南町では、飲食店のテイクアウト企画が始まりました。

新型コロナウイルスの影響で外食を自粛していた私には、飲食店のいろいろな種類のお弁当やオードブルなどがお持ち帰りができ、お店の料理が食べられるのが楽しみです。

大変なときですが、自粛の中でも楽しいことやうれしいことを見つけて、この困難な時期を乗り越えましょう。 ㊦



編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214
https://www.town.ainan.ehime.jp/